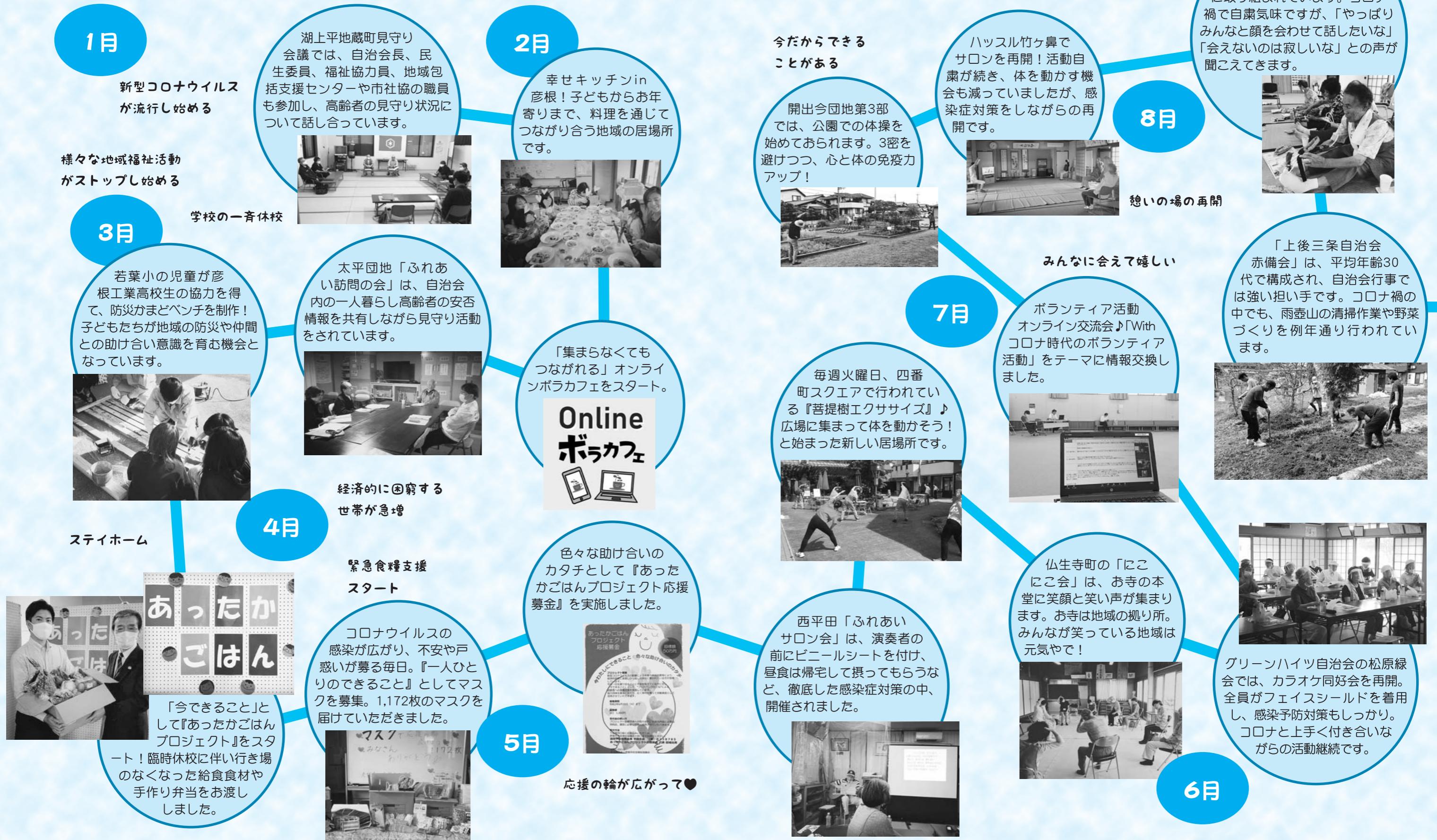


~ Withコロナ から Afterコロナ へ ~

2020 コロナ禍の地域福祉 活動をふりかえって



9月

敬老の思いを込め
た記念品を、高宮学区社
協から各自治会へ渡されま
した。感染症対策で敬老会等
の集まりが難しい中、力を
合わせて温かい気持ちを
届けてくださって
います。



辻堂町老人会では、
毎月ゴミ拾いや神社の
草刈りなど、町内の清掃活
動をされています。コロナ禍
で集まりにくい状況の今だ
からこそ、顔を合わせて見
守り会活動を展開され
ています。

市内の小学校で、
福祉共育の授業をしてい
ます。「ふくし」が特別なも
のではなく、みんなが幸せに暮
らせることを考えることだと分
かってくれたかな。様々な体
験や出会いを通じて、福祉
を身近に感じてくれる
と嬉しいです。



新しい取り組みにも
チャレンジ！

出路町サロン集で
オンラインに初挑戦！パ
ソコンをつなぎ、画面を通し
て「どやさーず」のサックス演
奏や曲当てクイズなどの交流を樂
しました。



10月

少しづつ“当たり前”的
な日常が戻ってきました。

彦根総合高等学校
の生徒会が、赤い羽根共
同募金「街頭募金活動」を実
施してくれました。コロナ禍の
今こそ、赤い羽根共同募金が「今
できる地域福祉活動」を応援
します！



宅老所「ふれあい
交遊広場なごみ」が活動
再開！集まりの場は、隣近
所の人の様子やお互いの体調
などを気に掛け合う大切な機
会になっています。



11月

榆町の「ふれあい
サロンいこい会」は、3
人の福祉委員が中心になって、
いろいろな工夫をしながら活動
されています。みんなが和気あ
いあいと過ごせる身近ないこ
いの場であり、大切な居場
所です。



12月

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域福祉活動
が停滞し、不安や閉塞感を抱えたままの生活が続く1年でした。地域
の中でつながる機会がもてず、これまで当たり前にあった『あたが
いさん』のお付き合いができなくなる状況が続く中、「このままでは
いけない」「何かできることがあるはず」と、人と人とのつながり、
あたがいさんの見守り合いの大切さに気づき、コロナ禍だからでき
た新しい取組やつながりがありました。

2021そして
Afterコロナへ